

「議会と語る会」を

横川・湯原地区で行いました。

5月15日 会場 横川集落センター
5月16日 会場 湯原コミュニティセンター

各会場での質疑（抜粋）内容

問 3月の予算特別委員会で一般会計予算が否決された理由とは。
答 議会だより254号の「予算特別委員会の背景」に記載していますが、スキー場指定管理料や物価高騰支援・やまびこの森キャンプ場の浴室改修や町内就労者確保などへの政治姿勢が主な理由となっています。

問 議会での質疑討論が何故なかったのか。
答 委員会は議員8名全員で構成しているため、議会先例により委員長報告に対する質疑はしていません。また、討論は事前通告制となっており、当日の午前9時までに討論の申し出が必要となっています。

問 予算特別委員会などの傍聴はできないのか。
答 定例会同様に各委員会の傍聴はできます。

問 「物価高騰支援金」の算定内容が売り上げ実績に応じた支援となっていたが問題があったのではないか。
答 国への問い合わせの下で実施されたが、今後は同様の算定方法はとらないとの考えが町から示されています。

問 まちづくり株式会社は町のためにはなっていると思うが、町全体の予算のバランスから見ても、民間企業のやり方や考え方と比較し、議会はどのように見ているのか。
答 町全体の予算配分から見てもいささか偏っていると思われる。貴重な意見として持ち帰り、対応を協議します。

問 湯原などの豪雪地区に作業能力の大きい除雪機の整備や特別な補助制度があってもよいのではないか。
答 人口が減少し高齢化している背景から、豪雪地域への行政支援は必要と思われるので、持ち帰り議会としての対応を協議します。

問 個人的に空き家を購入して移住された方がいるが、行政支援があってもよいのではないか。
答 移住政策としては空き家の改修や修繕への支援があります。

問 学校検討委員会の構成メンバーは。
答 子どもの保護者・学校教員・教育委員・地区住民・町職員・その他町長が必要と認めた方で構成される。すでに4回の話し合いが行われています。

参加頂いた方にアンケート調査で下記のような回答をいただきました。

- 町の経済的行政支援や空き家対策は、各地区で重要視されている。
- 町内の医療体制や子育て支援の体制は充実している。
- 農林業関係の対策については、やや不満に感じている。

「議会と語る会」の次回開催について

11月上旬に滑津地区・関地区にて開催を予定しております。会社組織の方や各団体、小規模サークルなどとの懇談会の開催も計画しておりますので各議員や議会事務局までご連絡をお待ちしております。



▲会場 湯原コミュニティセンター 8名参加



▲会場 横川集落センター 5名参加